

キャラクター名 プレイヤー名

メインクラス	ウォーリア	Lv.1:		レベル	4
サポートクラス	プリチャー	Lv.1:	プリチャー	性別	女
称号クラス				年齢	14
種族	ドラゴネット			境遇	呪い
出自 (効果)	商人			目標	強制

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運
基本値	15	15	9	8	6	12	9
ボーナス	5	5	3	2	2	4	3
クラス修正	2	1	1	1	0	1	0
他修正							
能力値	7	6	4	3	2	5	3

HP	64
MP	48
フェイト	5

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	ティルフィン	至近	-2	12				0	
左手	ファインシールド		0	0	0	6	0	-1	0
頭部	グレートヘルム				-1	4			
胸部	フェザーアーマー					9		1	
補助	ポイントアーマー				-1	3			
装身具	神竜印								
能力値			6	0	4	0	5	6	12
スキル	ウェポンルーラー		2						
その他									
総計(右)			6	12					
総計(左)			8	0	2	22	5	6	12
総計(両)									m
ダイス数			4 d	2 d	2 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	2			2	+ 2 d
トラップ解除	6			6	+ 2 d
危険感知	2			2	+ 2 d
エネミー識別	3			3	+ 2 d
アイテム鑑定	3			3	+ 2 d
魔術判定					+ d
呪歌判定	5			5	+ 2 d
錬金術判定					+ d

所持品	
冒険者セット	
HPポーション×3	乗用馬
MPポーション×1	スワフルラーメ
MPポーション	果実×3
ポーションホルダー	魔族の爪×6
マジカルキー	トレジャーハンター証
ハイHPポーション×2	ハイMPポーション×2
ハイMPポーション×6	
ベルトポーチ	
バックパック	
小道具入れ	

現在重量:	20	所持金:	6581	預金・借金:	
最大重量:	37				

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ドラゴニックシンボル	★	3	判定直前	20m	単体	自動成功	1	
効果: 対象が行う判定のダイス1個追加								
バッシュ	4	4	メジャー	武器	単体	命中	5	
効果: 武器攻撃を行う。ダメージロールに+[SLd]								
アームズマスタリー:長剣	1	-	パッシヴ	-	自身	-	1	
効果: 種別: 長剣の命中判定+1D								
エンデュランス	1	-	パッシヴ	-	自身	-	3	
効果: 最大HPと最大MPに+[SL×3]								
フォースストライク	1	4	マイナー	-	自身	自動成功	1	
効果: メインプロセスで行う武器攻撃のダメージを、選択した属性の魔法ダメージに変更する。								
ガードオーラ	1							
効果:								
ウェポンルーラー	1							
効果:								
スマッシュ	1						5	
効果:								
カバリング	1						2	
効果:								
ホバリング	1							
効果:								
スラッシュブロー	2							
効果:								
アイデンティファイ	1	-	パッシヴ	-	自身	-		
効果: アイテム鑑定の判定+1D								
デストロイヤー	1	-	パッシヴ	-	自身	-		
効果: オブジェクトを破壊する時のダメージロールに+2D								
イクウィップリミット	1							
効果:								
エンラージリミット	1							
効果:								

アルディオ出身のドラゴネット(アンスロック)の少女。
 本名は、テット=ルージュ。(テットはユダヤ教のカバラの文字(?)で「力」の意味)
 集落で商店を営む両親の元に生まれ、多くの友人に恵まれて幸せな日々を過ごしていた。
 が、9歳の誕生日の日に、悲劇は起きた。
 その日、ルージュは両親の仕事の関係でエリンディル大陸のクラン=ベルに来ていた。
 そこでブルーノ・ルフィーニのパーティに招待されるが、そこである物を見てしまう。
 それが原因で両親は殺され、ルージュは奴隷としてとらえられてしまった。
 以後、奴隷闘士として戦いの日々を身を投じているが、どうにか今日まで生き延びている。
 その長い奴隷生活の影響が、完全に心を閉ざしてしまっているが、実際は甘えん坊の女の子である。
 魔剣「ティルフィン」を手に入れた事をきっかけに、「竜血鍛の武具」を巡る運命に巻き込まれていく。
 夢は「本当の意味で“自由に”なること」
 キャライメージ: フランドール・スカーレット
 シン: 不思議な人。私に協力してくれる理由は分からないけれど、何故か彼といると安心する。
 悪い人ではない……そんな気がする。

